

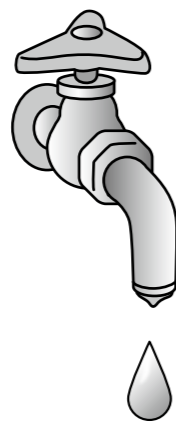
安全でおいしい水を届けるために

— 徹底した水質管理を行い、皆さんにお届けしています



市が独自に設けた 厳しい水質検査項目

法令で義務付けられている水道水の水質基準は51項目。仙台市では、さらに独自に項目を加えた200項目以上の検査を実施しています。



魚も水質をチェック!?

浄水場では、人だけではなく、魚も水質をチェックしてくれています。魚は水の変化に敏感なため、魚たちの様子に異変があれば、すぐに水質を検査します。



市内26カ所でも検査!

浄水場での検査だけでなく、市内26カ所でも水の検査を行っています。検査は毎日行われ、色や濁り、残留塩素などのチェックをしています。



24時間365日 水の安全性を確認!

配水量や水質、機械の動作状況などを24時間体制で監視しています。

100周年記念作品コンテスト 作品募集!

テーマ等	条件	サイズ等
絵がみ ①仙台の水道と私たちの暮らし ②ウォッターくん ※小学生以下	絵の中に「仙台水道100周年」の文字を入れる 絵の中に「100」または「仙台水道100周年」の文字を入れる	はがきサイズ、手書きのもの
写真 仙台の水・水道	仙台の水・水道に関係するもの	A4または6つ切りサイズ。デジタルカメラ・スマートフォン可。単写真、未加工のもの

●応募期限＝5月8日 ●対象＝仙台市の水道を使用している方 ●応募方法など詳しくは、水道局ホームページをご覧ください
☎304・0017

水道サポーター募集!

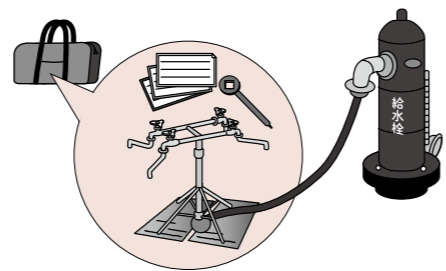
水道についての学習や施設見学、水道事業の今後の取り組みについての意見交換などを行う水道サポーターを募集しています。

●対象＝仙台の水道を使用している15歳以上（4月1日時点）で、メールでのやりとりが可能な方（水道サポーター・モニターの経験者を除く）30人（選考）
☎・問 はがきまたはEメールに住所、氏名（フリガナ）、性別、生年月日、電話番号、応募動機を記入して3月13日までに〒982-8585（住所記入不要）水道局営業課☎304・0017、Eメールsuidou-pr@city.sendai.jp

地域の防災訓練などで、災害時給水栓の使い方の確認を!

災害時に、地域の方々だけで給水所を開設することができる「災害時給水栓」。いざというときのために、防災訓練などで手順を確認しておきましょう。

詳しい使い方は、防災備蓄倉庫などに保管してある「災害時給水栓セット」に入っている操作手順書や仙台市公式動画チャンネル「せんだいTube」で確認できます。



※セットの中のホースは、滅菌・密封された災害時用です。訓練時には訓練用のホースを貸し出します。詳しくは水道局ホームページをご覧ください。

問 水道局水道危機管理室☎304・0099

良質な水道水を未来へ

— 仙台市水道 給水開始100周年

仙台市の水道は、皆さまに支えられ、3月31日で給水開始から100周年を迎えます。これからも、安全な水をお届けするため、水道の維持・管理に取り組んでいきます。

給水開始 100th

安定的な給水を目指した 100年の歩み

現在、市内にある水道管の総延長は、約4500キロメートル。そのルーツは、伊達政宗公の命で作られた約44キロメートルの四ツ谷用水にあります。当時は城下町を網の目のように流れ、防火用水や生活用水などに使われていました。明治時代になると四ツ谷用水は地下に埋められ、道路両側に側溝が設けられたものの、十分な排水機能が伴わず、井戸水が汚染されるようになったため、上下水道の建設が始まりました。

大正12年3月31日、仙台市で初めての近代水道（川などから取り入れた水をろ過し、鉄管などを用いて有圧で給水する水道）での給水を開始しました。その後、人口の増加や産業の高度化による都市としての発展に伴い、水の需要は増え続け、水不足が深刻化。そこで、安定した給水に向け、水源の整備や水道施設の建設など、5回に及ぶ拡張事業を実施し、今日の安定給水につながっています。

次世代へ仙台の水道をつなぐために

平成23年に発生した東日本大震災では、水道施設の破損被害や停

電などにより、市内のおよそ半分に当たる、約23万戸が断水する甚大な被害が生じました。全国の水道事業者などから支援を受け、給水車での応急給水と水道管等の復旧作業を行いました。

震災時の経験を踏まえ、水道施設や水道管の耐震化を進めるとともに、他都市や民間事業者等との連携強化に取り組んできました。さらに、災害時の備えとして、地域の方々だけで給水所の開設ができる「災害時給水栓」を設置することとしました。現在、市立小・中・高等学校など全ての指定避難所195カ所への整備を進めています。

また、水道局では水源地の豊かな自然環境を未来へつなげるため、令和2年より官民連携で水源保全に取り組む「青下の杜プロジェクト」を始動。民間企業と連携し、青下水源地の水源かん養林（水源を守ることを目的に整備する森林）の保全育成や、水源地の清掃活動等を行っています。

私たちの暮らしに欠かせない水道。今後も、時代や環境の変化に対応しながら、100年先も見据え、市民の皆さんに安全で良質な水をお届けできるよう取り組んでまいります。

この特集に関するお問い合わせは、水道局総務課☎304・0007、FAX249・2006